



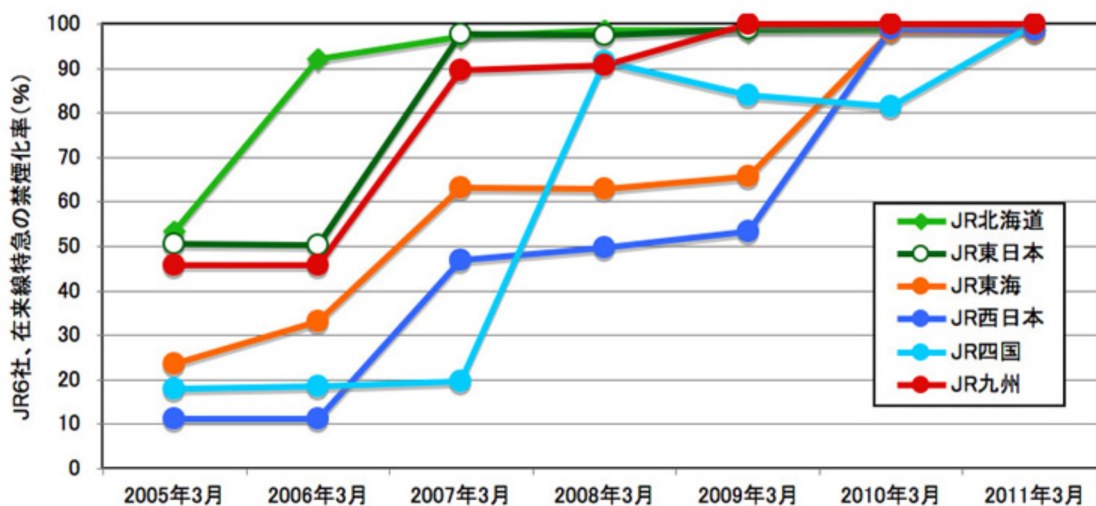
資料4-3

JR6社 在来線特急 禁煙化率

[0710日本公衆衛生学会発表スライドダウンロード](#)

当初の ラン キン グ	会社名	受動喫煙ゼロ割合							会社名	現在の ラン キン グ
		2005年3 月	2006年 3月	2007年3 月	2008年3 月	2009年3 月	2010年3 月	2011年3 月		
1位	JR北海道	56.9%	94.4%	98.2%	98.7%	100%	100%	100%	JR九州	1位
2位	JR東日本	51.0%	50.4%	97.6%	98.4%	98.8%	99.1%	100%	JR四国	1位
3位	JR九州	46.0%	46.0%	90.4%	92.0%	98.7%	98.9%	99.2%	JR東日本	3位
4位	JR東海	21.5%	32.5%	63.0%	89.8%	83.9%	98.7%	98.7%	JR西日本	4位
5位	JR四国	20.0%	20.0%	47.6%	62.7%	63.1%	98.2%	98.6%	JR北海道	5位
6位	JR西日本	11.1%	11.0%	21.5%	50.4%	53.0%	81.3%	98.2%	JR東海	6位
最新PDFデータ		PDF	PDF	PDF	PDF					

最新の詳細をご覧になりたい方は上記PDFをご覧下さい。



「受動喫煙がある車両」と判断した基準は以下の3つ：

- 1) 喫煙車両に隣接する禁煙車両 (JR東海、西日本、四国および九州のにちりんなど)
- 2) デッキに灰皿がある場合は、その両側の禁煙車両 (例：スーパーまつかぜ、宇和海)
- 3) 喫煙室がある禁煙車両は当該車両 (例：しおかぜ、ゆふいんの森)

逆に、喫煙車両の隣であっても、寝台車はデッキ接合部分にもドアがあり、客席同士が4枚の自動ドアで隔てられているため受動喫煙は発生しないと判断。

2011年3月13日更新

[トップへ戻る](#)